■学んで動いて開運する■

九星気学のはじめてガイド

©Feliceacco

目次



■はじめに　（P1）
■九星気学とは？　（P2）
■九星気学って何ができるの？　（P3）
■九星気学 本命星の調べ方一覧表　（P4）
■「気」とは？　（P5）
■九星気学で倖運体質になるには？　（P6）
■九星気学を学ぶことで得られるメリットは？　（P7）
■九星気学が当たるのはなぜ？　（P9）
■倖せな人とそうでない人の違いとは？　（P10）
■あなたの居場所はどこ？　（P11）
■九星気学で知る自分の役割　（P17）
■不幸な結果を引き寄せているのは自分自身？　（P18）
■偶数の星と奇数の星の違い　（P19）
■今とこれからの居場所を知るには？　（P20）
■最後に　（P22）

©Feliceacco

■はじめに



あなたは、九星気学と聞いてどのようなイメージを持ちますか？単なる占いじゃないの？と思われる方もいるかもしれません。九星気学は、学び、実践することで運気を上げられる学問です。「何となく上手くいかない」「自分は運が悪いと感じる」という人はもちろん、「今よりもっと倖せに過ごしたい」「悩んでる友人を助けてあげたい」という人にも、おすすめできる学問です。

「学んで動いて開運する 九星気学はじめてガイド」では、九星気学の基礎知識や、九星気学を学ぶことでどのようなメリットがあるのかを詳しくお伝えしていきます。

©Feliceacco

■九星気学とは？





九星気学は、陰陽五行や易（えき）の考え方、東洋思想、方位術などをベースに生まれた学問です。大正時代に園田真次郎（そのだしんじろう）氏がこれを確立し、昭和初期から広まっていったとされています。比較的新しいような感じもしますね。

しかし、九星気学の元となった占術の起源は古く数千年前の古代中国までさかのぼります。九星気学の元となった知識は、多くの人々が仮説・検証を繰り返し経験則から導き出したいわゆる統計学のようなもの。そして天体の位置や動きと、人間・社会のあり方を法則として読み解いた天文学的な側面もあります。まさに先人の知恵です。

蓄積された膨大なデータから導き出していくため、いいかげんな推測ではありません。占いにはどうせ当たり外れがあるじゃないかといった考えの方でも、比較的受け入れやすい学問だと思います。

©Feliceacco

■九星気学って何ができるの？

九星気学でできることは、大きく分けてこの3つです。

・人の本質および相性がわかる
・気の流れを知ることができる
・行くと良いことが起こる方角がわかる

九星気学では、生年月日から以下の九つの内、いずれかのグループに分けて鑑定をします。

一白水星（いっぱくすいせい）
二黒土星（じこくどせい）
三碧木星（さんぺきもくせい）
四緑木星（しろくもくせい）
五黄土星（ごおうどせい）
六白金星（ろっぱくきんせい）
七赤金星（しちせききんせい）
八白土星（はっぱくどせい）
九紫火星（きゅうしかせい）



これにより、自分や他人の性質、才能、先天的な運勢、基本的な傾向、人と人との相性の良し悪しなどについて知ることが可能です。次のページに生年月日から本命星を割り出せる一覧表を載せています。あなたや家族、気になる人はどの星か調べてみてくださいね。

また、九星気学を知ることで「気」の流れが分かるようになります。気の流れが分かると、開運のためのアクションを起こすことができますので、どんどん運が良くなってきます。

©Feliceacco

■九星気学
本命星の調べ方一覧表

九星気学は1月1日ではなく、立春から新しい一年が始まります。
2月3日までに生まれた方は前年の星が本命星となります。

西暦	日本年号	九星
1926	昭和元年	二黒土星
1927	2年	一白水星
1928	3年	九紫火星
1929	4年	八白土星
1930	5年	七赤金星
1931	6年	六白金星
1932	7年	五黄土星
1933	8年	四緑木星
1934	9年	三碧木星
1935	10年	二黒土星
1936	11年	一白水星
1937	12年	九紫火星
1938	13年	八白土星
1939	14年	七赤金星
1940	15年	六白金星
1941	16年	五黄土星
1942	17年	四緑木星
1943	18年	三碧木星
1944	19年	二黒土星
1945	20年	一白水星
1946	21年	九紫火星
1947	22年	八白土星
1948	23年	七赤金星
1949	24年	六白金星
1950	25年	五黄土星
1951	26年	四緑木星
1952	27年	三碧木星
1953	28年	二黒土星
1954	29年	一白水星
1955	30年	九紫火星
1956	31年	八白土星
1957	32年	七赤金星
1958	33年	六白金星

西暦	日本年号	九星
1959	昭和34年	五黄土星
1960	35年	四緑木星
1961	36年	三碧木星
1962	37年	二黒土星
1963	38年	一白水星
1964	39年	九紫火星
1965	40年	八白土星
1966	41年	七赤金星
1967	42年	六白金星
1968	43年	五黄土星
1969	44年	四緑木星
1970	45年	三碧木星
1971	46年	二黒土星
1972	47年	一白水星
1973	48年	九紫火星
1974	49年	八白土星
1975	50年	七赤金星
1976	51年	六白金星
1977	52年	五黄土星
1978	53年	四緑木星
1979	54年	三碧木星
1980	55年	二黒土星
1981	56年	一白水星
1982	57年	九紫火星
1983	58年	八白土星
1984	59年	七赤金星
1985	60年	六白金星
1986	61年	五黄土星
1987	62年	四緑木星
1988	63年	三碧木星
1989	平成元年	二黒土星
1990	2年	一白水星
1991	3年	九紫火星

西暦	日本年号	九星
1992	4年	八白土星
1993	5年	七赤金星
1994	6年	六白金星
1995	7年	五黄土星
1996	8年	四緑木星
1997	9年	三碧木星
1998	10年	二黒土星
1999	11年	一白水星
2000	12年	九紫火星
2001	13年	八白土星
2002	14年	七赤金星
2003	15年	六白金星
2004	16年	五黄土星
2005	17年	四緑木星
2006	18年	三碧木星
2007	19年	二黒土星
2008	20年	一白水星
2009	21年	九紫火星
2010	22年	八白土星
2011	23年	七赤金星
2012	24年	六白金星
2013	25年	五黄土星
2014	26年	四緑木星
2015	27年	三碧木星
2016	28年	二黒土星
2017	29年	一白水星
2018	30年	九紫火星
2019	令和元年	八白土星
2020	2年	七赤金星
2021	3年	六白金星
2022	4年	五黄土星
2023	5年	四緑木星
2024	6年	三碧木星

©Feliceacco

■「気」とは？

気の流れと聞いてもいまいちピンと来ないという方もいるでしょう。「気」とは、なんでしょうか。

「気」を使った言葉は、わたしたちの身の回りに溢れています。元気、病気、気持、気合…気の意味を調べてみると、変化、流動する自然現象、生命、精神、心の動きといった言葉が出てきます。これらは目には見えないエネルギーですが、多くの人が身近に、かつ敏感に感じ取っているものです。

そして、この「気」は、人だけではなく全てのものに存在しています。九星気学では、自分にとってプラスとなる気を生活の中に積極的に取り入れていくことで運気を上げていきます。たとえば、ラッキーカラーやラッキーフードとか聞いたことありますよね？これらも、生年月日との相性があり、自分に合ったものを選ぶことがプラスの気を取り入れることになるのです。

また、九星気学は、方位の吉凶の把握に用いられることも多く「吉方位に出かける、引っ越しをする」などもプラスの気を取り入れるアクションです。ブログにて私がおすすめしている「恵方参り」も、気学の開運アクションの1つです。恵方参りの仕方については下記のQRコードを読み取ってご確認ください。LINE公式アカウントでは毎月、月の運気が切り替わる時期（恵方参りに適した日）をアナウンスしております。興味のある方はこちらもチェックしてみてくださいね。

↑恵方参りについてはこちら

↑feliceacco LINE公式アカウント

©Feliceacco

■九星気学で
倖運体質になるには？



「気」の流れおよび方位の吉凶が分かるということから、九星気学はあなたにとって非常に心強い味方となってくれるでしょう。なぜなら、最強の開運アクションである「吉方取り」ができるようになるからです。

吉方取りとは、自分にとっての最大吉方（*1）、吉方の方位に足を運び、宇宙のエネルギーである「気」を取りに行くこと。不足しているエネルギーを補いながら全体運を上げてくれるため、自然と気持ちが前向きになります。あなたがあなたらしく生きるパワーをくれます。

気学の良いところは、行動すればするほど運を上げられるところ。吉方取りは行えば行うほど必要なエネルギーを得ることができます。吉方取りができれば、普段からエネルギーの貯金を行うことができますから、不安や悩みが減り、自分らしく生きられるようになっていきます。

*1 最大吉方・・・自分を最大限に高めてくれる星のこと。本命星、月命星どちらにとっても吉になる星を指します。

©Feliceacco

■九星気学を学ぶことで得られるメリットは？

「九星気学って何ができるの？」（P3）でお伝えしたとおり、九星気学では自分や他人の性質・才能などを知ることができます。そのため、普段意識していない自分自身としっかり向き合い、今まで以上に自分を生かしていくことができます。

自分の身の周りの人の性質について把握することで、関係を円滑に進めやすくなるため、苦手を克服したり人間関係でのストレス軽減に繋がるでしょう。他人の性格や価値観が見抜けるようになれば、コミュニケーション能力も上がりますし、人間関係もスムーズになります。

九星気学を学べば気の流れが分かるようになるともお伝えしました。気の流れとは、言わば人生のバイオリズムです。これを活用すれば、以下のように運気を最大限に活かした行動をとることができます。

・行動を起こすのにベストなタイミングが分かる
・達成したい目標がある時、今の自分にとっての最良の選択ができる

春になったら種をまき、秋になったら収穫するというように、行動にはそれに適した時期や季節があります。人生においても、その時々でどう立ち回るべきかが決まっているのですね。



©Feliceacco

九星気学で導き出される人生のバイオリズムは、原因と結果によって算出されたもの。つまり、良い結果が出るように良い原因をつくることもできるのです。良い原因とは、その時の気の動きと人の動きをしっかりマッチさせることで生まれます。九星気学をしっかりと学べば、時期と状況に応じて自分はどう動くべきかが掴めるようになっていくでしょう。

自分自身の問題が解決できたら、困っている人や悩んでいる人を手助けできるようになり、身の周りの人を倖せにすることも叶います。最も実践的に行えることとしては、前述した「吉方取り」が一番効果的です。吉方取りは行えば行うほど倖運体質になっていきます。本能や五感がクリアに研ぎ澄まされ、これは自分にとって良いものか？悪いものか？という判断が付くようになるのです。実践していくうちに自然とご縁も変化してきて、あなたも周りの人も開運していくことができるでしょう。



©Feliceacco

■九星気学が当たるのはなぜ？

世の中には様々な占いがありますが、その中でも九星気学はよく当たると言われています。私が毎年書いている翌年の予言書も九星気学を使っておりますが、すごく当たると評判です。では、なぜそんなにも九星気学は当たってしまうのでしょうか？

多くの人にとって馴染み深い占いに、12星座占いがあります。テレビ番組や雑誌の占いコーナーでは定番ですよね。しかし、各テレビ番組で運勢にばらつきがあることに疑問を持ったこと、ありませんか？ばらつきが生まれるのには理由があって、生まれた年を考慮していないからなんです。九星気学は生まれた年や月だけでなく、6つくらいの要素を加えて相当な情報量を使うため、深いところまで占えます。また、九星気学が当たる大きな理由には、根底に流れる東洋思想の考え方が大きく関係していると言えるでしょう。

東洋の占いと西洋の占いとは根本的な考え方が異なります。日本語の「占い」という言葉は「裏成り（うらなり）」が語源で、裏の成り立ちを示すもの。因果の法則と言えばわかりやすいかと思います。

東洋では全てのことには原因があり、それに応じて結果があると考えます。その法則を元にしているのが東洋思想ですので、そこには科学性と合理性があります。決して、神秘性や偶然性、スピリチュアルではないのです。だから、東洋占術の1つである九星気学にもしっかりと根拠があり、当たるというわけですね。

©Feliceacco

■倖せな人と
そうでない人の違いとは？



九星気学を学ぶ上で大切な考え方が「居場所」です。人はどこに住むか、どの職場で働くか、誰とともに過ごすかを自分の気持ちだけで決めがちですが、多くの生物は違います。カツオは南で生まれ北へのぼり、また南に戻ってくるので戻りガツオと呼ばれます。ライオン・チータは草原に、オラウータンはジャングルに生息しています。花であれば、湿度や高度、季節によって生きる場所を決めます。アジサイなら湿度が高い6月のジメっとした季節を選んで咲き、ヒマワリは夏の暑い盛りに花を咲かせます。こんなふうに生物たちは住処や時期を見極めているんです。

どの生物も、自分の持っている特性に合わせた居場所を上手に見つけて生き残ろうとしています。私たち人間だけが、本来の居場所を意識せずに生きようとしているのです。だから、自分に合わない環境で生きようとすれば当然うまくいきませんし、自分に合った居場所を見つけられた人は倖せになれる。九星気学はそれを教えてくれるツールというわけです。

©Feliceacco

■あなたの居場所はどこ？

では、あなたの居場所はどこなのでしょうか？九星気学は客観的な視点で、あなたの居場所を示してくれます。

九星気学に「後天定位」（こうてんじょうい）というものがあります。下記の図（図1）を見たことがある方も多いのではないでしょうか。このように五黄土星を中心とした後天定位図は人間の世界を表しています。五黄土星は死と再生を象徴する星。つまり、「死」が存在する世界＝人間の世界を表すとも言えるわけです。

この人間の世界の中で、あなたの星はどこにいますか？あなたの本命星が位置する場所こそが、あなたの基本的な居場所です。各星についてとりあげて解説してみましょう。

図1（後天定位）



九星気学では、北が下になります。

©Feliceacco

＜一白水星（北）＞

一白水星は北にある「坎宮（かんきゅう）」という場所が定位置。
「坎」というのは穴とか窪みといった意味があるため、物事を深く掘り下げて考えるタイプです。反省と後悔が多く、何をしても「ああすればよかった」と思いがち。しかし、後悔しないようにするよりも、そのままでいた方が良い運気を引き寄せます。
「水」の性質があるので、それが凍らない環境に身を置くと良いでしょう。プライドが刺激されると反骨精神から頑固になってしまうことも。常に温かい言葉をかけてもらえる環境を居場所にすることが大事です。
なお、納得感を持って物事を進めたいので、経緯を一から説明してもらえる人と一緒にいることも俾せに繋がります。

＜二黒土星（南西）＞

二黒土星は南西に位置し、大地の気をまとっています。全ての生物を包み育てる母なる大地ですね。実際に母親という象意（*2）もあります。まさに母親のように愛情深く、無意識の内から人に無償の愛を与えてくれる人です。
従って、二黒土星はその真心に対して「ありがとう」と言ってもらえるような環境にいることが非常に大切。先回りしてお礼を言ったり、前もってきちんと連絡をしてくれたりするような人と一緒にいれば安心できます。
二黒土星の方は人の誠意を無視したり、自分勝手な行動をとってしまうとみるみる運気が下がっていきます。見返りを求めず、相手への思いやりをなくさないように心がけると開運できます。

©Feliceacco

＜三碧木星（東）＞

三碧木星は雷の星とも呼ばれ、ひらめきで発言したり行動したりする傾向があります。まさに朝令暮改（ちょうれいぼかい）という言葉がぴったりで、朝出した命令が、夕方にはもう改められている、そんな性格です。計画性がなくやったことをすぐに忘れてしまいますから、反省はありません。「反省」「後悔」三碧木星にはない言葉ですね。
こだわりのないところが良さでもあるので、それを否定されてしまうと落ち込んで何もできなくなってしまいます。三碧木星の方は、自分の頑張りを大きな心で認めてくれる環境を見つけることが大事です。褒められると次も頑張ろう！という気持ちが生まれてくるので、「なるほど」「さすがだね」と言ってもらえるような環境を居場所としましょう。

＜四緑木星（南東）＞

四緑木星は風の星なので爽やかで差し障りがない、社交的な方が多いです。位置しているのは南東で、季節としては春から初夏。物事が整う「信用の方位」とも言われます。人を信用しすぎるところがあってよく騙されますが、それでもなぜか「自分は大丈夫」だと思っており、楽観的に捉えています。
四緑木星は非常に人の和を重んじる人。全員に平等に接したいという思いから八方美人と言われることもありますが、実は誰よりも人に気を遣っています。その気遣いや些細な変化をくみ取ってもらえるような、理性と常識を持って接してくれる人を相手にすると安心できます。優柔不断さがあるので、ビシッと言ってくれる環境に身を置くのも良いでしょう。

©Feliceacco

＜五黄土星（中央）＞

五黄土星は中央に座する星。その最大の特徴は、全体に向けて話す役割を持っているということ。そのため五黄土星は他の星に影響を与えようと努力しますが、周りを囲まれていることでそれがしにくく、フラストレーションがたまります。従って不機嫌になったり、偏屈になったりすることもあるのですが、それが五黄土星らしさでもあります。無理に直そうとするよりも、そのまま自然体で生きることが運気をアップさせる秘訣です。
また、五黄土星は頑固なところがあり、人の意見を聞きません。細かいことを先に指摘されるのを嫌いますから、大きな視点で自分を見てくれる上司のもとにいると、特性を活かせるでしょう。ある程度裁量を持って動けるような、大らかな環境を居場所にするのも吉です。

＜六白金星（北西）＞

六白金星が位置しているのは北西。「天」「太陽」の象意を持ち、完全無欠の意味があります。性格は頑張り屋で、実際に実力もあり器用な人です。一方で自分こそが偉いのだと思っている節があり、人を下に見てしまいがち。イメージとしては、家庭の中で主人がえばっている雰囲気で、九紫火星と同じく指図を嫌います。
内心は気が強くて意地っ張り、そして気品がありますから、プライドが傷つかない環境を居場所に選びましょう。人前で怒られたり、否定をされるような環境ではやる気がなくなり、仕事もすぐに辞めてしまいます。独立精神があり頼まれたことはきっちりこなすので、苦労と試練を与えつつ大きな気構えでフォローしてくれる人が近くにいればベストです。

©Feliceacco

＜七赤金星（西）＞

七赤金星は西に位置する星で、秋を表します。秋と言えば収穫の季節なので、楽しいことや喜びを感じられることが大好きです。明るい雰囲気の人で、愛嬌もあります。
湖の星なので、オアシスのように人を癒し、楽しませることが使命です。事実、人を喜ばすツボをおさえている人が多いです。飲み会や宴会なども得意分野ですから、そういった場を提供してもらえる居場所では活躍できます。
また、会話上手で面白い人なので、声とか会話力を褒められると嬉しくなります。口が災いになってトラブルを招く可能性には注意しつつ、自分も他人も楽しませることを意識したら運気が上がっていくでしょう。

＜八白土星（北東）＞

八白土星は我慢強く困難に負けない強さを持っています。嫌なことがあっても着実に物事を積み上げていける人です。思いきりがよく、部分的な改革にも力を発揮します。
また、情に訴えられると弱い人でもありますね。情に厚く頼られることを好み、身近な人を大切にします。不特定多数ではなく、小さなコミュニティでも良いので家族みたいな関係の人と過ごすようにすると人生が豊かになるでしょう。
山の星ですので、プライドは高く持っています。プライドが傷つけられると頑固になり何を言っても聞かないという状態になることも。プライドを大切に守れるような環境や、情熱をこめて夢を語れる場所、そんなところが居場所となることでしょう。

©Feliceacco

＜九紫火星（南）＞

九紫火星は南にいます。南は太陽に一番近い場所。明るいことが好きな情熱家ですね。頭がキレて容姿に自信がある方が多く、人に指図を受けるのを嫌う傾向です。また、明るい場所にいるため色んなことが鮮明に見えてしまい、勘が鋭いです。パートナーの浮気にはすぐに気が付くでしょう。人を見るのがとっても上手なんですね。
位置している季節は夏で、ジメっとしていて暑い。そこから、1番愚痴っぽいとも言われます。しかし、その方が運勢が強くなります。そういう星であると、居場所が決まっているのです。
九紫火星は人を救いたいという社会奉仕の気持ちも強いですから、頼られる環境を居場所に選ぶと良いでしょう。「さすがだね」と褒めてくれる人と一緒にいれば運気もアップします。

いかがでしたか？こんなふうに、居場所を意識して生きていると、運気がぐんぐんと上がっていきます。「あの人運がいいよね」「あの人はなぜか倖運」と思う人は、自分にとって心地良い居場所を理解している人なのです。もし自然の法則に逆らって九紫火星が愚痴をやめようとしたらどうなるでしょうか？傾斜（*3）によっても話が変わってきますが、基本的には運勢が悪くなるでしょう。このように居場所を理解して、自分の良さを出していくことが重要です。

*2 象意（しょうい）・・・九星などが持っている意味を物や現象になぞらえたもののこと。

*3 傾斜（けいしゃ）・・・その人物の潜在意識や隠れた才能、隠れた性格を表します。

©Feliceacco

■九星気学で知る
自分の役割

多くの人は自分の居場所を意識していないので、様々な場面で悩みが生じてきます。例えば、家庭とビジネス、両方大事だけれど今はどちらを優先すべきなのか？ということが判断できません。自分の居場所がわかっていたら、自ずと何を優先すべきかが見えてきます。

果たすべき役割も居場所によって異なります。課長は下に注意を向けるべきですし、部長は上に注意を向けるべき。もし間違ったところに注目していたら、ミスや失敗につながり、自信を失うことにもなり得ます。役割を理解していなかったがために、選択全てが裏目に出て自分自身に絶望してしまう人もいます。自分の役割を見つけてさえいれば、避けられることです。居場所というのは、単に自己理解のためだけでなく、人生に迷ったときにも手助けしてくれる知識なのです。

例えば、現役を引退して仕事を辞めた途端に生きがいを失ってしまう方がいます。しかし、生きている限り宇宙はいつだって居場所を与えているのです。それまで積み重ねてきたキャリアを使ってできることがきっとあるはず。それを教えてくれるのもまた、九星気学です。

居場所がわからなければ、当然生きている意味もわからなくなります。しかし、居場所を見つけ、宇宙の法則に則って生きようとすれば、何歳になってからだって、自分の役割を見出すことは可能なのです。

©Feliceacco

■不幸な結果を引き寄せているのは自分自身？

こんなエピソードがあります。

二黒土星を本命星に持つ女性がいました。その人は占い師からもらったアドバイスを実行したのですが、その数ヶ月後、子宮の病気が発覚し手術をすることになったそうです。女性は、占い師の言う通りにしたのになぜ病気になったのかと不満を抱いていました。

二黒土星というのは身体の部位でいうと子宮を担当しています。よくよく話を聞いてみると、彼女は3回引越しをしていて、本命殺（ほんめいさつ）を犯していたのです。本命殺とは、簡単に言えばその人の本命星にとっての凶方位（引っ越してはいけない方位）のこと。その方位に移動してしまうことを本命殺を犯すと言い、様々な災難に見舞われます。主にケガや病気という形で現れることが多く、この方の場合は子宮の病気となって発現しています。こうなったのは占い師のアドバイスが原因ではなく、本命殺を犯していたからだったのです。

では、なぜ本命殺を犯してしまったのでしょうか。ここで大事になってくるのが9ページでお伝えした占いは裏成りという考え方。全ては原因と結果で結びついているということです。実は彼女は母親と喧嘩をしていたことがきっかけで凶方位へ移動していました。母親(母＝二黒土星を意味する)という自分の元となる命をないがしろにしていたので、本命殺を犯してしまったのです。つまり、凶方位へ移動してしまったことは結果であり、そうなる原因があったのです。

自分の居場所がわかっていない人は、こうやって知らないうちに不幸を引き寄せる行動をとってしまいます。次の項目では、九星を奇数と偶数に分けて、不幸を引き寄せてしまう行動と、逆に運気がアップする行動についてお伝えします。

©Feliceacco

■偶数の星と奇数の星の違い

図1（P11、21）をみていただくと、東西南北には奇数の星が入っていることが分かります。その間にある四隅には偶数の星が入っていますね。

偶数の星はすみっこなんです。従って、偶数の本命星を持っている方は人間関係を大事にすることが鍵となります。そしてきちんと影役に徹すること。偶数の本命星を持っているのに目立とうとするのは、居場所にそぐわない行動なんです。それだと、経済的にも人生的にも豊かにはなれません。見えないところを綺麗にして、目立たないことでもきちんとやっておくことが運を開く鍵となります。また、偶数の星は柔らかめのB鉛筆、ボールペンなら0.7ミリ以上を使った方がいいです。細いペンは運勢が悪くなってしまいます。

では、奇数の星はどうかと言うと、見えない部分よりも見えてる部分が大事になってきます。鞄の中身がどうこうよりも、お化粧が上手にできる方が大切。髪型を綺麗に整えている、服装がきっちりしているという状態が、奇数の星の有るべき姿です。アイテムとしては細い鉛筆やペンが運気アップにつながり、ヘアスタイルとしてはストレートヘアーの方が多いですね。

真ん中にいる五黄土星はみんなの注目を集めるところなのできちっとしています。しかし、外からは見えないところにいるので、ブランドや質はそんなに重視しません。

自分は「これが好き・あれが好き・ああなりたい」という希望もあるでしょうが、まずは自分の居場所を知って何が自分の運気を上げてくれるのかを知ることが、倖せに生きるためにはとても大切です。

©Feliceacco

■今とこれからの居場所を知るには？



自分の居場所を知るには、後天定位（図1）で本来の自分の居場所と、その時々で変わっていく居場所を見ていく必要があります。移り変わっていく居場所を見るには遁甲盤（とんこうばん）というものを使うのですが、それは毎年、毎月、毎日変化していきます。年の遁甲盤は年盤（ねんばん）、月の遁甲盤は月盤（つきばん）、日の遁甲盤は日盤（ひばん）と言い、以下のように使い分けます。

・本来の居場所→後天定位で見る
・今年の居場所→今年の年盤で見る
・今月の居場所→今月の月盤で見る
・今日の居場所→今日の日盤で見る

©Feliceacco

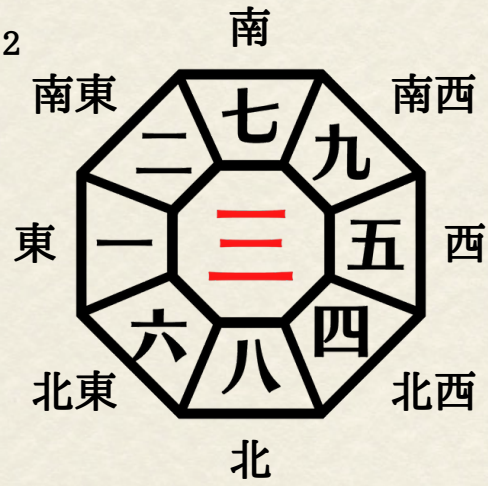
中宮（真ん中）に位置する星は年盤なら毎年、月盤なら毎月変化していきます。（日盤は少し複雑なので割愛します）その年の年盤を見れば、あなたが一年で何をすべきなのか役割が見えてきます。1つ例を見てみましょう。

＜本命星が七赤金星で三碧木星中宮の年だった場合＞

図1（後天定位）



図2



まず、七赤金星の本来の居場所を見てみます。（図1）七赤金星は西にいるのが本来の居場所です。それが、三碧木星中宮の年には、南に来ることになります。（図2）

南に居るということは暑いですよね。その中で無理をしなければいけないので、よく休むことが大切です。暑さにバテないように薄着になって、再出発する必要があります。その年、自分が置かれた環境に合わせて着る服や立ち回りを変えていかないとパフォーマンスは発揮できません。それは日々の生活でも仕事でも同じです。どこに自分がいるかを知っていれば、その年に自分が気を付けるべきこと、どう生きれば良いか、果たすべき役割が明確になるのですね。

©Feliceacco

■最後に

九星気学は現象の裏の成り立ちを紐解いた、原因と結果の学問です。春になれば桜が咲くように、人にもつぼみをつけるべき時期、花を咲かせるに適した時期があります。人も、宇宙の流れの一部だからです。九星気学風水はその時期を見極め、動き方を教えてくれる開運学。運気を知ることで積極的に吉を取りに行き、吉の貯金ができるようになります。

このPDFを読んでくださったあなたには、まず九星気学の基礎である星の居場所について知っていただきました。この知識を使い、日々移り変わる居場所のどこに自分は立っていて、どう対処していくべきかを考えること。それができれば、人生は豊かになっていきます。九星気学は、こうしたことを細かく勉強していきます。

さらに深い九星気学の知識を勉強したい方は、以下の方法で学ぶことができます。

・書籍を使って独学で学ぶ
・講座でプロに教えてもらい学ぶ

概念的な部分を知りたいだけなら、書籍で学ぶ手もあります。しかし、日常生活で活用できる位の知識を得たいとか、周りの人を見てあげられる、もしくは仕事にできるくらい実践的に学びたいというのであれば、独学のみでマスターするのは少し難しいと言えます。自分のものとして身につけるなら、講座でプロから直接学び、補助的に書籍等を参考にするのが一番でしょう。

現在私は『日盤吉方マスタークラス』『九星気学風水マスタークラス』という動画講座をご用意しています。こちらの講座では、書籍のみではわかりにくい部分をわかりやすく体系的に学習することができます。動画システムですので、ご自宅で好きなときに、好きなだけ学びを深められます。

©Feliceacco

特に、他の流派ではあまり重要視されていない「十干」(*4)の読みも丁寧に鑑定するのは私たちの流派ならでは。精密な鑑定ができるようになりたいという方におすすめです。また、九星気学を学ぶ方全員に共通して知っていただきたい「九星気学を取り扱うための心構え」もお伝えします。薬は用量用法を守って使用するから効果があるように、九星気学にも倖せに使うための掟があります。初めて占いを習う方だけではなく、他の占術で既に占いをされている方にもためになる知識を盛り込んでいますので、ぜひご検討してみてくださいね。

*4 十干(じっかん)・・・五行説「木火土金水」をそれぞれ陽と陰に分けたものであり、甲(こう)、乙(おつ)、丙(へい)、丁(てい)、戊(ぼ)、己(き)、庚(こう)、辛(しん)、壬(じん)、癸(き)の総称。天の気と呼ばれます。

ここまで、「学んで動いて開運する 九星気学のはじめてガイド」を読んでいただき、ありがとうございました。九星気学はもっと強運になりたい方、誰かの役に立ちたい方、ビジネスをしている方など、今より倖せになりたい全ての方に学んでほしい学問です。このPDFの内容を足掛かりに、あなたが九星気学に興味をもってくだされば倖いです。



By Acco

©Feliceacco